



ROCK PAINT

059ライン

ロックコートF4

合成樹脂調合ペイント

JIS K 5516 1種
合成樹脂調合ペイント
(つや有り)

ホルムアルデヒド放散等級	
F	☆ ☆ ☆ ☆
居室内で無制限に使用できます	

国土交通大臣認定

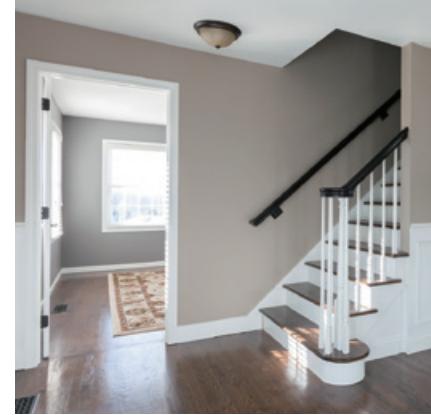
認定番号	区分
NM-8585	不燃材料
QM-9816	準不燃材料
RM-9364	難燃材料

塗料塗装
(一社)日本塗料工業会

ロックペイント

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆☆

鉛・クロムフリー



ROCKCOTE R 合成樹脂調合ペイント ロックコートF4

ロックコートF4は長油性アルキド樹脂をビヒクルとし、耐久性のすぐれた顔料を厳選し配合した合成樹脂調合ペイントです。品質は隠ぺい性にすぐれ、たれ・ハケ目が少なく作業性にすぐれた建築用塗料の代表品です。

特 長

- 1 JIS K 5516 1種 合成樹脂調合ペイントに合格しています。(つや有りに限ります。)
- 2 ホルムアルデヒド放散等級がF☆☆☆☆☆のため、室内においての使用制限がありません。
- 3 鉛・クロム・コバルト化合物を原料として使用していない環境配慮型の塗料です。
- 4 乾燥性、特に芯じまりにすぐれた内外部用の合成樹脂調合ペイントです。
- 5 たれ、ハケ目が少なく、ハケ運びが軽く、作業性が非常にすぐれています。

用 途

- 建築物の鉄扉など鋼材、鋼板面、内外部鉄部
 - 一般木部、木質建材などの上塗り
- (注意) 新設のコンクリート、モルタルなどアルカリの強い素地には塗装することはできません。

塗り面積・塗り重ね時間

標準塗り面積(m ² /15kg・回)	115~150
塗り重ね可能時間	10°C 40時間以上 23°C 16時間以上 30°C 16時間以上

色・容量 JIS K 5516 1種(フラットベース・つや調整品は除く)

品 番	色	容 量
059-0205	ハイホワイト	
059-0024	ファインエロー	
059-0029	オレンジ	
059-0040	シンクレッド	
059-0075	シアニングリーン	
059-0080	ロイヤルブルー	
059-0095	フラットベース	15kg, 3kg
059-0210	レッド	
059-0225	オキサイドレッド	
059-0223	オーカー	
059-0234	ブラック	
059-9010	調色品	

※この他、店頭調色用の059-K205(ホワイト・非JIS表示:15kg)があります。
調色品にJIS表示が必要な場合はご注文時にその旨をご連絡ください。

JIS K 5621 一般用さび止めペイント 2種

[F☆☆☆☆☆]

ロックコートF4 217°ライマ-

特 長

- 1 ホルムアルデヒド放散等級がF☆☆☆☆☆で、室内においての使用制限がありません。
- 2 鉛・クロム化合物を原料として使用していない環境配慮型の塗料です。
- 3 ハケ、ローラー、エアレスいずれの塗装用具でも塗りやすく、作業性にすぐれています。
- 4 乾燥性がよく、取り扱いが容易です。

用 途

- 屋内外の一般鉄骨、鋼板、手すり、門扉などサビ止め

塗り面積・塗り重ね時間

標準塗り面積(m ² /20kg・回)	153~181
塗り重ね可能時間	10°C 24時間以上 23°C 16時間以上 30°C 16時間以上

色・容量

品 番	色	容 量
059-2550	赤サビ色	
059-2551	グレー	20kg

関連塗料

品 番	品 名	容 量	品 番	品 名	容 量
061-1540	サビカットII 赤サビ色	16kg, 4kg	051-1531	ロック木部用マルチ下塗り ホワイト	16kg, 4kg
061-1541	サビカットII グレー	16kg, 4kg	051-1532	ロック木部用マルチ下塗り チョコレート	16kg, 4kg
061-1542	サビカットII ホワイト	16kg, 4kg	051-1533	ロック木部用マルチ下塗り ブラック	16kg, 4kg
061-1544	サビカットII ブラック	16kg			

塗膜性能

(JIS K 5516 1種 試験項目)

(ハイホワイト及び淡彩色のつや有り)

項目	品質	性能
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。	合格
塗装作業性	はけ塗りで塗装作業性に支障があつてはならない。	合格
乾燥時間(表面乾燥性)	16時間以内	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合格
隠ぺい率%(白及び淡彩)	90以上	合格
促進黄色度(白について)	0.20以下	合格
鏡面光沢度(60度)	80以上	合格
重ね塗り適合性	重ね塗りに支障があつてはならない。	合格
加熱残分 %	65以上	合格
促進耐候性	膨れ、はがれ及び割れの等級は0であり、色とつやの変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。また、白及び淡彩では白亜化的等級が1以下とする。	合格
屋外暴露耐候性	1年間の試験で、膨れ、はがれ及び割れがなく、色とつやの変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。また、白及び淡彩では、白亜化的等級が4以下とする。	合格

標準塗装仕様

◆新設：一般鉄部

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量(kg/m²・回)	塗り重ね可能時間(23°C)
素地調整	足場及び飛散防止シート(必要に応じ防音シート)を仮設し電動工具を主体として手工具を併用し、サビを完全に除去してください。日本道路協会素地調整程度「2種ケレン」、またはSIS St3。じんあい、水分、油脂分は完全に取り除き、塗装しない箇所のマスキングをしてください。					
下塗り	059-2550 ロックコートF4 21プライマー 赤サビ色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~10 エアレス : 10~15	1	0.11~0.13	16時間以上
上塗り	059ライン ロックコートF4 調色品	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~10 エアレス : 10~15	2	0.10~0.13	16時間以上

注) ●下塗りは上記以外に059-2551 グレーがあります。

- トタン、ステンレスなど非鉄金属面には061ライン「サビカットII」などをご使用ください。ただし目付量の多い溶融亜鉛メッキ鋼板の場合は、付着性が十分得られない場合がありますので、その場合、2液型の変性エポキシプライマーをご使用ください。
- 非鉄金属面の場合にも、油脂分、白サビ、黒サビ、ゴミ、ホコリ等は完全に除去してください。

◆新設：一般木部

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量(kg/m²・回)	塗り重ね可能時間(23°C)
素地調整	オービタルサンダーでP180~P240ペーパーを用いて、汚れ、付着物、ケバ立ちを除去し平滑な面にしてください。木のヤニは削り取るかまたは焼きゴテで処理し揮発油で拭き取ってください。節およびその周辺はセラックニスで節止めを行ってください。穴うめが必要なときは、ロックポリバテで穴うめを行ってください。					
下塗り	051-1530級 ロック木部用マルチ下塗り 各色	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	1	0.12~0.20	4時間以上 7日以内
上塗り	059ライン ロックコートF4 調色品	塗料用シンナー	ハケ、ローラー : 5~10 エアレス : 10~15	2	0.10~0.13	16時間以上

注) ●下塗りは 1531 ホワイト、1532 チョコレート、1533 ブラックがあります。

- 木部の塗装については木の性質などによりはがれ、割れを生じることがありますので、事前に試し塗りなどを実施し確認してください。

※仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などにより多少異なる場合があります。

*旧塗膜は活膜であることが前提です。

使用上及び施工上の注意事項

- 塗料全体をよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。
- 塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、枯葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 気温が低いときや湿度が高い場合には、完全な塗膜ができにくく十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上での塗装は避けてください。
- 絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けください。
- 飛散防止のため養生を行ってください。特に吹付け塗装の場合は注意してください。
- 補修部分が目立つことがありますので、補修塗りの場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
- 塗装方法により多少色相が異なることがありますので、入り口のハケ・ローラー境目はできるだけ奥までローラー塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により色相が異なって見えることがあります。
- 作業能率の低下および塗りムラの原因になるため、スプレーノズルの先端は時々洗浄してください。
- 希釈には必ず塗料用シンナーを使用してください。また必要以上に希釈するとたれや色分かれの原因になります。
- つやの調整品は、被塗物の形状、状態、塗装膜厚や塗色などにより、実際のつやと少し違って見える場合があります。あらかじめ試し塗りし確認してください。また塗り継ぎや補修の際につやむらが出やすいため、面を切って通して塗装してください。
- つや消しの場合、色彩によっては底つやが残ることがあります。
- 調色には必ずロックコートF4原色または、ロックトーンカララント3000(ベースの3%以内)を使用してください。ロックトーンカララント3000で調色する場合、フラットベースの使用は避けください。
- コンクリート、モルタル等アルカリ素材への塗装は避けください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装を避けください。
- シーリング材の上に塗装する場合、シーリング材の種類、劣化度により付着不良、吸収われを起こしたり、表面が汚れたりすることがあります。状況によっては、シーリング材用プライマー「ロックノンタックプライマー-S」を塗装してください。塗膜の汚染・はがれ・割れの低減が図れます。シーリング材の種類によっては汚れ、付着不良の場合がありますので試し塗りすることをお奨めします。なお、ノンブリードタイプのシーリング材に「ロックノンタックプライマー-S」は塗装しないでください。
- エマルジョンペイントの外部での使用は避けください。
- 外部の塗装について、塗料臭気が室内に入らないように換気装置などを停止し、開口部などの養生を行ってください。
- 塗装面の取り合い等で可塑剤が多く含まれる建材(塩ビ鋼板、ラミネート鋼板、プラスチック、ゴムパッキン、塩ビクロスなど)への直接の塗装は塗膜が軟化する場合があり避けてください。また、これらの素材に塗膜が接触・付着しないように注意してください。
- 内部の塗り替えで旧塗膜が合成樹脂調合ペイントやフル酸樹脂エマルなどの油性系の場合、ペーパーガードを行ってください。下地処理が不十分な場合、塗膜剥離ことがあります。
- サビについては完全に除去後、削りカス(サビ、鉄くず)を完全に除去してください。サビの発生の原因となります。
- 鉄部の塗装には下塗りにロックコートF4 21プライマーを塗装してください。
- タンク板など非鉄金属面に対しての付着性が良くありませんので、下塗りに変性エポキシ系のサビ止め塗料(サビカットIIなど)をご使用ください。
- シーラー類や各種上塗り塗料には防錆性がありませんので、金属製の部分が錆びている場合、錆などを除去、ケレンし、適性のあるサビ止め塗料を下塗り後、上塗り塗装を実施してください。
- 溶接接合部や下塗りにキズがある場合は、その部分が塗膜不良となりやすいので、素地調整後、適性のあるサビ止め塗料で補修塗装後下塗り塗装してください。
- 木の材質、下地の状況によっては割れ、はがれを生ずることがありますので、事前に試し塗りを実施し、確認してください。
- 木部塗装で釘頭には、サビ止め塗料(21プライマー・サビカットII)を塗装してください。釘頭が錆びている場合は、サンドペーパーを用いて錆びを除去してからサビ止め塗料を塗装してください。
- 新設の木部の場合は、含水率15%以下で行ってください。また節止めは必ずセラックニスを塗装してください。
- カウンター、テーブル、いす、棚、床等への塗装は避けてください。
- 塗装作業中および乾燥中は換気を十分行い、その後も塗膜が完全に乾くまでの間は、ときどき換気を行ってください。
- 塗色が濃色の場合、塗膜を強くこすると色落ちすることがありますので注意してください。
- 汚れたウエスをまとめて置いたり、スプレーダストなどがたまつくると発熱し、自然発火のおそれがあります。使用済みのウエス、塗料かす、スプレーダスト等は廃棄するまで水を張った容器に保管してください。
- 改修塗装の場合、素地の種類や下地処理方法によって塗膜不良となることがあります。あらかじめ適切な処理を行い試し塗りすることをお奨めします。
- 改修塗装の場合、脆弱な旧塗膜、汚れ、チョーキングなどはディスクサンダー、皮スキ、ワイヤーブラシなどで除去し、高圧洗浄を行った後、24時間以上乾燥させてください。(気温23℃、湿度65%の場合)
- 仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。
- 塗り重ね可能時間(乾燥時間)は塗装現場の温度、湿度、風通し、素地の状態などにより、多少変わります。
- 各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合塗膜不良となることがあります。また、各工程において当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。
- カタログに記載されていない素地及び塗装方法、工程で施工する場合、塗膜欠陥を起こすことがありますので、最寄りの営業所へお問い合わせください。
- 上塗りに鮮やかなエロー系、レッド系、ブルー系、グリーン系の塗色で仕上げる場合、塗膜の隠ぺい性が弱い傾向にあるため、先に隠蔽性のよい共色(近似色)で下塗りした後、上塗り塗装してください。
- JIS適合品の光沢はつや有りに限ります。
- 開缶後は塗料表面が皮張りしやすいため、できるだけ早く使い切ってください。
- このカタログに記載されている下塗り塗料などの詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。
- ◆取扱いの際は製品容器の注意書き、製品カタログおよび安全データシート(SDS)をよく読み、注意事項を厳守してください。

安全衛生上及び取扱い上の注意

〔製品の危険・有害性〕

- ・引火性の液体である。
- ・溶剤蒸気を吸入すると中毒を引き起こすおそれがある。
- ・目、皮膚、粘膜などに対し刺激性がある。
- ・スプレーダストや塗料の付着したウエスなどは発熱し、自然発火するおそれがある。

〔救急処置〕

- ・目に入った場合には直ちに多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- ・誤って飲み込んだ場合には、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- ・蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- ・皮膚に付着した場合には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛み又は外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。

〔施工後の安全性について〕

- ・本製品群は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装後の引き渡しの際は、施工に対して安全性に十分注意を払うように指導ください。
- ・不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ベンキ塗りたてであるなどの立て看板などを設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようご配慮願います。

〔取扱い注意事項〕

- ・取扱いは引火源のないところで行い、特に静電気が発生するような衣服の着用や、取扱いは避けください。
- ・取扱い作業所には局部排気装置を設け、塗装時及び乾燥時には十分換気を行ってください。
- ・溶剤蒸気やスプレーダストを吸入しないように、必要に応じて有機ガス用防毒マスク又は送気マスクなどの適切な保護具を着用してください。
- ・できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護めがね、保護手袋(耐溶剤性)、長袖作業着などを着用してください。
- ・取扱い後は手洗い及びうがいを十分に行ってください。
- ・作業着などに付着した汚れをよく落としてください。
- ・使用済みウエス、塗料かす、スプレーダストなどは、廃棄するまで水を張った容器に保管してください。
- ・よくフタをして直射日光を避け、5℃以上40℃以下の安全でかつ子どもの手が届かない場所に保管してください。
- ・火災時には炭酸ガス、泡又は粉末消火器を用いてください。
- ・指定された以外の商品と混合しないでください。
- ・廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。
- ・容器は中身を使い切ってから廃棄してください。

安全データシート(SDS)をよく読んで取り扱ってください。

ロックペイント 株式会社

東京営業部 〒136-0076 東京都江東区南砂2-37-2 大阪営業部 〒555-0033 大阪市西淀川区姫島3-1-47
TEL(03)3640-6000 FAX(03)3640-9000 TEL(06)6473-1650 FAX(06)6473-1000
札幌営業所 〒003-0011 札幌市白石区中央一条4-3-48 名古屋営業所 〒454-0059 名古屋市中川区福川町1-1
TEL(011)812-2761 FAX(011)812-9304 TEL(052)351-6500 FAX(052)361-7433
仙台営業所 〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代2-3-11 渡正ビル201 岡山営業所 〒701-1134 岡山市北区三和1000番34
TEL(022)349-8677 FAX(022)283-3255 TEL(086)294-1201 FAX(086)294-6966
西関東営業所 〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本1-15-16 福岡営業所 〒811-0119 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3-2-1
TEL(042)700-3111 FAX(042)700-3112 TEL(092)962-0661 FAX(092)963-1241

販売店

URL <https://www.rockpaint.co.jp>

●本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。
また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。